

学校関係者評価委員会実施日：令和6年 5 月 27 日 10時30分～12時00分

評価委員：（順不同、敬称略） 白倉 慶大 葛西 雅栄 田中 一志 樋原 均 武石 明葉

令和5年度自己点検自己評価(令和5年4月1日～令和6年3月31日)による

【理念・運営目標】	北海道エコ・動物自然専門学校は、職業教育を行う高等教育機関として、職業人教育を通じて社会に貢献するミッションを持ち、3つの建学の理念「実学教育」「人間教育」「国際教育」を通じ業界に直結した職業人の育成をするとともに、4つの信頼「学生・保護者からの信頼」「高等学校からの信頼」「業界からの信頼」「地域からの信頼」を得ることを目指している。北海道恵庭市の環境を活かし「動物と共に学ぶ学校」をコンセプトに、高い就職実績を実現し、道内はもちろん、全国から支持される学校を目指す。
【組織目的】	動物に関わる豊富な学習環境を特長とし、「動物と共に学ぶ学校」として、人と動物を繋ぐ人材を育成します。また、その環境を活かし、学外の方にも動物に関わる学びを提供していきます。そのことで、人と動物が共生する豊かな社会創りに貢献します。
【運営方針】	1. 「動物と共に学ぶ学校」としてのブランド構築 2. 学校学科専攻に対応した強い学校作り 3. 授業の質向上に取り組み

項目	関係資料 コンテンツ	点検項目	2023年度自己点検	2024年度 重点目標	令和4年度 委員会評価 (平均)	令和5年度の 自己評価採点	令和6年度 委員会評価 (平均)	白倉	葛西	田中	武石	樋原	学校関係者評価委員よりの御意見
					【3段階評価点】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価点】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価点】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価点】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価点】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価点】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価点】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない		
1 教育理念・目的・育成人材像		1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	本校を設置する学校法人は、「職業人教育を通じて社会に貢献する」とことをミッションとしている。デュプロマポリシーを学校として明確に定め、「動物福祉」「環境保全」に関する知識を基盤とし自ら学び続ける意欲を持った人材育成を目指している。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		1-2 学校の特色は何か	地域貢献プログラム「ECO-Academy」を策定している。夏休み自由研究では、31名の参加。トリミングサロンは順調に利用者が増えている。	今後も継続、または新規事業を展開し学生の教育の質の向上を図りたい。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	・トリマーは入社後に技術教育に多くの時間を使うため、学生からの技術取得に期待していきたい。(白倉委員)
		1-3 学校の将来構想を抱いているか	常に5年先を見据えた5か年計画を策定し、社会の変化に合わせて、教育・運営の両面から学校の将来像を描いている。動物分野の学校において、ブランド化を目指していく。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
2 学校運営		2-4 運営方針は定められているか	市場のニーズと学校の課題性を捉えた上で、運営方針を定めている。それを毎年の実行方針や目標に具体化している。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		2-5 事業計画は定められているか	本校の事業計画は毎年11月ごろから作成している。合わせて収支計画も作成し、学校の中長期的な財務基盤の安定に努めている。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	毎週水曜日に、全職員参加の全体会議（運営会議に当たるもの）と学科会議と交互に実施し、学内コミュニケーションが円滑に図れるようにしている。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	学園全体の整備された制度下で、学校やチームの目標は全体会議等においてマネージャーと議論の上で決定している。		3.0	3	2.8	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	
		2-8 意思決定システムは確立されているか	全体会議を開催し、教育、広報、就職、予算等の問題解決している。また朝礼・終礼を行い、日々発生する諸問題解決を迅速に行っている。	今後は職員が分散するため、ICTを活用した決定の迅速化を図りたい	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	学生・教職員の個人情報管理はAS400及び業務システムで行っている。また、サイボウズによる学内コミュニケーション、票議、出張、外勤のシステム等を管理し、効率化を図っている。	今後は出席管理システム、履修登録システムや講師出勤管理などを導入しさらに効率化を図りたい	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	

項目	関係資料 コンテンツ	点検項目	2023年度自己点検	2024年度 重点目標	令和4年度 委員会評価 (平均)	令和5年度の 自己評価採点	令和6年度 委員会評価 (平均)	白倉	葛西	田中	武石	樋原	学校関係者評価委員よりの御意見
					【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 2: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 2: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 3: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 4: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 5: 出来ていない	
3 教育活動		3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	各学科にディプロマポリシーをしっかりと定め、業界のニーズに対応出来る人材育成に取り組んでいる。	各学科にディプロマポリシーをしっかりと定め、業界のニーズに対応出来る人材育成に取り組んでいる。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	・明るさなど性格的なものではなく、業務上で必要な社交性は今後より重要に感じる。(白倉委員)
		3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	前期・後期のステップに分けて段階を踏んでスキルを上げて行ける様にシステムを構築している。学外実習においては選択科目化や提携先の再選択も取り入れ、公平な評価に努めた。	愛玩動物看護師の国家試験を初めて受験し、今後はより明確化したい。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	各学科の特徴を生かし、その学科のディプロマポリシーを基に作成したカリキュラムポリシーに沿って、体系的に編成されている。	各学科の特徴を生かし、その学科のディプロマポリシーを基に作成したカリキュラムポリシーに沿って、体系的に編成されている。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	カリキュラムポリシーや卒業時の到達目標に向けて、科目の繋がりを意識し、それぞれのカリキュラムが適正に位置付けされている。	カリキュラムポリシーや卒業時の到達目標に向けて、科目の繋がりを意識し、それぞれのカリキュラムが適正に位置付けされている。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	キャリア形成を目的にオープンキャンパス・入学前教育を行い、在学中はキャリア設計を意識したカリキュラムに沿って授業が展開され、卒業後はキャリア開発が出来るようにサポートを実施している。	横断的なカリキュラムも構築し多様性に配慮を行いたい。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	授業アンケートを実施しており、学生からの授業評価を行っていた。おおむね好評を得ている。	次年度は教務改革センター主導のアンケートに移行し、取得したデータを他校も含めた横断的な分析を行いたい。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	業界で実務経験を積んだ教員として卒業生の教員、現場で現在も活躍する教員も確保している。それぞれの講師が意見交換などの交流を行う場を設け、教育の質向上を図っている。	第2校舎にて野生生物生息域外保全センター等、新たな飼育施設及び犬舎を充実させ、より高度な授業を行える体制をより充実させたい。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	「教育システム改革研修」および「カリキュラムブレゼン」など計画し行うことで、専門性の向上に努めている。また道産学園グループ内の同業種養成校と積極的に研修、情報交換を行い、技術の専門性を向上させている。また各教員は専門技術等の向上を図るため、学外の学会等に参加している。オンラインセミナー等で積極的に参加している。	現場での高度医療の本格実施が見込まれるため動物看護師学科教員の積極的なセミナー参加	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-18 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	教育指導要領に記載されている学則、細則に定められている規定に沿って適正に評価している。規定は毎年見直しを図っている。	教育指導要領に記載されている学則、細則に定められている規定に沿って適正に評価している。規定は毎年見直しを図っている。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
	3-19 資格取得の指導体制はあるか	取得目標としている資格は、その業界で仕事をする上で重要な資格である為、希望者全員が資格取得が出来るように受験対策を行っている。	愛玩動物看護師の資格取得のため、国家試験ドリル・自宅学習支援システム(J-web)等の環境をより活用する。また今年度の実績を踏まえ対策を強化する。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
4 教育成果		4-20 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3月末の求職者就職率は100%(52名就職/52名希望)、専門就職率は84.8%と高い専門就職率を維持した。年度末で残った就職希望学生は0名である。		3.0	2	2.4	2.0	2.0	3.0	3.0	2.0	・接客業についての指導は必要だと思いました。(葛西委員)
		4-21 資格取得率の向上が図られているか	資格取得の為に必要な支援講座を行っている。受験学生の状況に合わせてながら受験指導内容を検討し改善を行っている。また今年度道内初(おそらく全国でも珍しい)警察犬指導手試験に学生4人が任命。5頭の犬が囃託警察犬に合格した。また災害救助犬認定試験にも学生と犬のペアが合格した。	特に愛玩動物看護師資格対策は今年度の状況を省みて改善を行う。	3.0	2	2.8	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	
		4-22 退学率の低減が図られているか	中途退学に対して目標を掲げ対策に取り組んでいる。メンター制度や選択授業制度等、学習制度を改革した。またスクールカウンセラー等とも協力し、退学防止に努めている。退学者数は13名(4.2%)となった。	さらなる教育システムの改善等により、退学率の低減を図りたい	2.5	3	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	・会社でも精神的問題を抱えている人は多い。そこからどう復讐できるかサポートしたい。(白倉委員) ・進学経験者からのアドバイスなども参考にできたら、少し気持ちが変わるものかなと思いました。(武石委員)
		4-23 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2023年度に実施した卒業生への取材件数は、全部で0件であった。しかし卒業生の来校しての報告や同窓生と教員のネットワークを通じて、活躍の把握に努めている。	次年度はより掘り下げる形の取材を行い、入学希望者、在校生、同窓生に周知を図りたい。また講師も積極的に卒業生を登用したい。	3.0	3	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0	2.5	

項目	関係資料 コンテンツ	点検項目	2023年度自己点検	2024年度 重点目標	令和4年度 委員会評価 (平均)	令和5年度の 自己評価採点	令和6年度 委員会評価 (平均)	白倉	葛西	田中	武石	樋原	学校関係者評価委員よりの御意見	
					【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 2: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 3: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 4: 出来ていない				
5 学生支援		5-24 就職に関する体制は整備されているか	キャリアセンターから産学・高専連携センターへ発展的組織変更に、職員を配置している。産学・高専連携センターは厚生労働大臣へ届出による「無料職業紹介事業」を行っている。また就職への動機づけ授業、就職に向けた面談、履歴書添削、面接試験対策、求人開拓や、学内外の企業説明会の開催・参加の案内をし学生の業界理解に努めている。	産学・高専連携センターによる、戦略的な就職方針を確立し、より質の高い就職を目指す。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		5-25 学生相談に関する体制は整備されているか	メンター制を導入し、学生の相談は内容に応じて各教員が対応することで行き届き無きようにしている。また必要に応じてSSCへ繋げて、より深いカウンセリングを受けられるように対応している。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		5-26 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	学費は原則一括納入ではあるが、個々の家庭の状況を鑑み、それぞれに合わせたプランの提案を実施している。また日本学生支援機構の奨学金利用等、公的支援制度への相談体制ができている。奨学金利用の説明についても丁寧に実施している。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		5-27 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	健康診断をはじめとして学校保健法に規定するコンプライアンスは遵守している。特に医療法人慶心会による健康管理体制により、健康診断とその再検査も実施している。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		5-28 課外活動に対する支援体制は整備されているか	課外活動について、学生からの要望等があれば柔軟に支援する体制を整えている。また動物愛護月間(9月)の各地区のフェス等に学生と共に参加し、支援している。	次年度は、胆振の動物愛護フェスティバル及び北海道ワンヘルスフェアの参加を前向きに検討する。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	・譲渡金などのボランティア活動を地域の協力、周知を広めながら、もっとやってほしいと思います。(武石委員)	
		5-29 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	寮については学園グループ企業が4棟を有しており、地方からの学生にも対応できる体制となっている。寮には寮長が在駐し健康管理、生活指導を行っている。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		5-30 保護者と適切に連携しているか	入学式、卒業式に保護者会を実施し、積極的にコミュニケーション等をとっていたり促進している。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		5-31 卒業生への支援体制はあるか	動物看護師の国家資格に伴う受験申し込みなどにかかる業務を、卒業生の個々の状況に応じた対応を行った。また滋慶グループの関連企業による「Jキャリアスクール」を展開し、リカレント教育を希望する社会人や企業、同窓生対象の講座を約700講座を用意している。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
6 教育環境		6-32 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	各教室・実習室に必要な教育機器を配置している。2023年度も次の増加にあわせて大舎の増設等を行った。また第2校舎にて野生生物生息域外保全センター等、新たな飼育施設を整備している。	次年度も新たな改装工事を行い、施設、設備の充実を図りたい。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		6-33 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	学外実習については、国内研修を充実させており、全国の有名な動物園や水族館の訪問や、保護施設の訪問など1年次より同じ、学習の動機付けや基礎としている。また2年次以降も継続的に国内研修を行い、学んだことを背景に学生たちの気付きを促すよう企画している。	海外研修を復活させ、さらに整備していきたい。	3.0	3	2.8	3.0	2.0	3.0	3.0	3.0	・海外研修の実施できるようお願いしたい。(葛西委員)	
		6-34 防災に対する体制は整備されているか	防火管理者をはじめとして、環境安全衛生管理者、衛生管理者、環境管理者、安全管理者による管理体制を敷いている。年に1回消防本部、環境整備関連会社による防災訓練を実施。防災教育にも力を入れている。AEDは各校舎設置しており、定期的な教員時における知識の習得と意識付け研修も行っている。また、学生・教職員ともに災害時の安否確認システムに登録し有事の際の備えも行っている。	次年度以降もバラエティに富んだ防災訓練等を企画したい。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
7 学生の募集と受け入れ		7-35 学生募集活動は、適正に行われているか	学生募集活動は、北専各連の定める募集基準に則り、AOエントリーは8月から、出願は9月から、その他の受験方法による出願は10月から受け付けている。募集要項に関しては、学費を全額表示するなど、受験生にとってわかりやすく掲載している。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		7-36 学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	「動物と共に学ぶ学校」教育、そしてその結果としての卒業生の実績等を、入学案内、WEBページ、SNS等を通じて積極的に発信している。	学校の教育活動全般を、Instagram、X(twitter)、YouTube、Facebook、TikTokのSNSにて適切に情報発信する。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		7-37 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入学選考は入学試験規定を定め、これを運用している。合否についても入学選考規定に則る入学合格判定会議を実施し、公平、厳正に実施している。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		7-38 学納金は妥当なものとなっているか	学納金は適正かつ妥当なものと考えており、その納付金額、方法に関する情報も適正に発信を行っている。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		

項目	関係資料 コンテンツ	点検項目	2023年度自己点検	2024年度 重点目標	令和4年度 委員会評価 (平均)	令和5年度の 自己評価採点	令和6年度 委員会評価 (平均)	白倉	葛西	田中	武石	樋原	学校関係者評価委員よりの御意見
					【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 2: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 3: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 4: 出来ていない		
8.財務		8-39 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2023年度実習費、講師料ともに予算通り、適切に執行することができた。次年度より良い教育環境が提供できるよう努めたい。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		8-40 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	計画的な収支計画・事業計画を作成し、適正な予算執行を行っている。学内では、各学科での予算作成と予算執行を行っており、部署毎で適正に予算の運用を行っている。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		8-41 財務について会計監査が適正に行われているか	グループ企業により書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整備が出来ており、毎年行う監査法人の行う内部監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、問題ない。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		8-42 財務情報公開の体制整備はできているか	公認会計士による監査と監事による監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会においてその報告をしている。また、webサイトで情報公開ページを用意し、財務情報の公開を行っている。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
9.法令等の遵守		9-43 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令や設置基準の変更等に伴う申請手続き等を迅速に対応できる体制づくりを行っている。教員間での法令・基準の遵守に対する教育を継続的に実施している。また毎年の監査によりコンプライアンスの実施状況についてチェックしている。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		9-44 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	学生、保護者、企業、講師、入学希望者についての個人情報保護について、同意を取り付けたうえで、規定に則り運用を行っている。教職員に向けて取り組みとして個人情報研修会を実施している。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		9-45 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	自己点検・自己評価についての方針、実施を開始し、委員会の形成と外部評価を実施している。学校関係者評価、並びに教育課程編成委員会での意見を十分に反映し、高等教育機関の制度変更への対応もしている。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		9-46 自己点検・自己評価結果を公開しているか	毎年自己点検・自己評価を実施し、ウェブサイトによる公開を実施している。自己点検自己評価結果をもとに重点課題について学校関係者評価員と学校づくりの検討を行い更なる評価の向上に努めている。		3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
10.社会貢献		10-47 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	小学生対象の夏休み仕事体験会31名参加。学校犬と学生の嚮導警察犬の登録、各地域の動物愛護フェスティバルへの出展、恵庭市後援ペットナー講座開催、保護猫の譲渡活動支援、ペットフェスティバルのボランティアスタッフ参加、恵庭市防災訓練の参加、学校犬と学生の災害救助犬登録など様々なボランティア参加と社会貢献を行った。	今後も嚮導警察犬や災害救助犬の登録維持と、動物を通じた社会貢献活動を行ってきたい。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		10-48 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか			3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
11 国際交流		11-48 グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	海外研修等でグローバル人材の育成を図っているが、世界情勢の不安定化や急激な円安により、都度開始時期を検討している。それらの動向を注視し、いつでも再開が実施できるよう、準備を整えている。	安全や経済性に配慮し海外研修が実施できた場合は、研修先である海外の動物関係機関と教育提携を進める。	3.0	3	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		

その他  
・恵み野商店会や、町のつながりを増やせたらいいなと思いました。ここにエコがあることを知らない方も多そうです。花壇へのマーキングで困っている方もいます。(近隣住民のマナーの悪さです。)お散歩マナーの周知などパンフレットを作ったり、ペットと一緒の避難所のマナー周知など学生さんと協力してできたらいいなと思いました。(武石委員)







